

【5月の被害例】

1. シャンゼリゼ通りのスターボックスで休息中、隣の椅子に置いたかばんを、一瞬目を離した際に、置き引きされた（男性旅行者）
2. ルーブル美術館のモナリザ前で写真撮影をしていた時、かばんを後ろに引っ張られたような感じがしたので、かばんを確認したところ、いつの間にかチャックが開いており、中に入っていた財布をすられた（今月は、モナリザ前での被害が、大使館に届けがあったものだけでも3件発生）
3. CDG空港へ向かうロワシーバス車内で、手荷物を座席において、大きな荷物を車内の荷物置き場に置いてから座席に戻ると、手荷物がなくなっていた（女性旅行者）
4. ギャラリーラファイエットで買い物中、いつの間にかバッグの中から財布を盗まれていた（女性旅行者）
5. 地下鉄9号線ショセ・ダンタン・ラ・ファイエット駅で電車に乗り込もうとし時、降りてきた女性2人組が前に立ちはだかりぶつかった。彼女たちはそのまま降りて行ったが、電車に乗って気が付くと、バッグのチャックが開いており、中から財布を盗まれていた（女性旅行者）
6. 北駅にタリスで到着後、バッグをホームに置いたまま、電車の中から複数のスーツケースを降ろしていると、いつの間にかバッグだけ置き引きされていた（男性旅行者）
7. CDG空港へ到着後、パリ市内のホテルへタクシーで向かっていたところ、渋滞した高速道路上で、後部座席の窓ガラスを何者かに割られ、膝の上に置いていたバッグを強奪された（女性出張者）
8. ベルサイユ宮殿を見学中、見ず知らずの人に写真を撮ってくれと頼まれたので対応していたところ、何者かにバッグの中から財布を抜き取られた（女性旅行者）
9. オペラ座界隈の路上を歩行中、3人組の少女に署名を求められたので、強く拒否したが、無理やり体を寄せてきて、バッグの中から財布を強奪された（女性旅行者）
10. 地下鉄1番線に乗車中、いつの間にか寝てしまい、気が付くとバッグの中から財布が抜き取られていた（在留邦人男性）